

## 本の紹介

ニッポンの精神医療を問う

ルポ

風間直樹  
井神恵美  
辻麻梨子  
東洋経済調査報道部

# 収容所 列島

人生の貴重な時間-奪った病院-  
決して許せません

拒食症を理由に7日間  
身体拘束された14歳の少女  
DV夫の暴行で  
長期入院させられた看護婦  
規則はザル状態！まじめな  
女性ほど陥る市販薬乱用  
認知症の診断で強制入院を  
余儀なくされた元警察官！  
東洋経済オンラインで  
2700万PV  
人気番組「NHKスペシャル」  
収録の取材

この本は介護や生活保護の第一線にいる人々に読んでもらいたい。  
もちろん精神科医療について「よくわからない」という一般の人たちにも  
読んでもらいたい。

介護や生活保護の支援にあたる人には日本の精神科医療の実像がわたしたち  
たちが守るべき人を「精神科医療が共に守ってくれるのか？」という視点  
で読み進めて欲しい。

そして今は精神科医療に無縁でも家族や自分が精神科医療を必要とするか  
もしれない人々は精神科医療を無批判で受け容れて良いのかを考えて欲しい。

この本に紹介される事例は決して特異なものではありません。わたしたち  
の身近な場所にも重なる問題があるのです。

精神科医療が人の可能性を奪うものになってはいけません。

人の可能性を広げる精神科医療を作るにはまず事実を把握することです。

本書によると日本の精神病床の平均在院日数は265日。

イタリアは僅か13.9日。

この数字一つをみても日本の精神科医療は何か変だと思いませんか？

ルポ・収容所列島

ISBN978-4-492-22404-5

定価 本体1600円+税

東洋経済新報社

## ミニ知識

### 認知症と医療費

10月から高齢者の医療費自己負担が原則2倍化されました。それに加えて2年後には介護保険の自己負担も増えそうな流れです。

そんななかで暮らしを守りながら治療を続けなければ重症化してしまいます。

少しでも医療費の負担は減らしたいかたに「自立支援医療」という制度をご紹介します。

この制度では精神障害者が病院又は診療所へ入院することなく行われる精神障害の医療に係る医療費を支給します。

制度を利用するには主治医に診断書を記入して頂きます。

その診断書と共に申請を行政の障がい福祉の窓口提出するだけです。

数ヶ月で受給者証が自宅に送られてきます。

その受給者証を医療機関や調剤薬局、

訪問看護の事業所に示せば

認知症にかかる医療費が軽減されます。

ただし、医師によってはこの診断書の作成が

できないことがありますのでご注意

ください。

## おねがい

新型コロナウイルス感染拡大に伴う  
利用者みなさんへのお願い

●サービス利用中は可能な限りサービスご利用の方マスクの着用をお願いします。

●利用者、同居の家族のかたの体調不良(発熱など)はあらかじめきょうと福祉倶楽部までご連絡ください。



有限会社 おとくに福祉研究所

きょうと福祉倶楽部

〒617-0824

長岡京市天神4丁目7-12 ハイソプラ101号

TEL 075-958-2560 FAX 075-957-2808

E-mail info@fukushi-club.com